

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第3週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は4,845人(定点あたり95.3)で、前週比171%と増加した。

前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は流行性耳下腺炎であった。

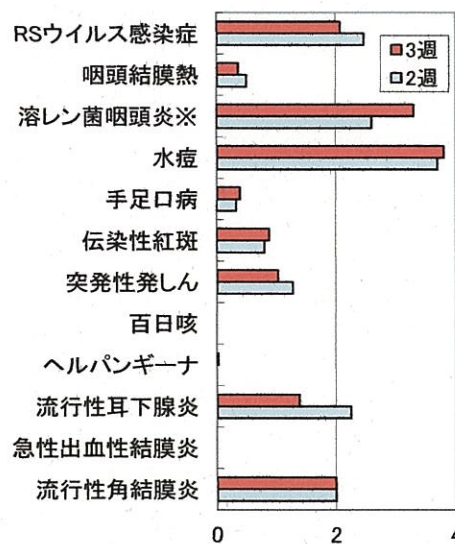
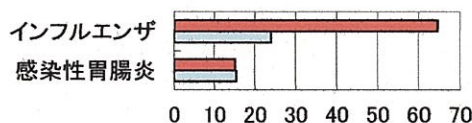
インフルエンザの報告数は3,805人(64.5)で前週比268%と増加した。県全体で警報レベルを超え、延岡(105.9)・都城(78.1)・小林(71.4)保健所からの報告が多かった。年齢別では5歳以下が全体の31%、6-9歳が25%、10-14歳が21%、15-19歳が5%、20-50歳代が17%、60歳以上が1%を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は119人(3.3)で前週比127%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(2.3)の約1.5倍と多い。延岡(12.0)保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では3歳から6歳で全体の約6割を占めた。

マイコプラズマ肺炎1人が延岡保健所から報告された。3ヶ月の女兒で原因菌は *Mycoplasma pneumoniae*。

クラミジア肺炎1人が高鍋保健所から報告された。6歳の女兒で原因菌は *Chlamydia pneumoniae*。

《前週との比較》



定点あたり報告数
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

□ 感染性胃腸炎の集団発生(平成23年1月17日~平成23年1月23日まで)

保健所名	施設の種別	件数
小林	老人保健福祉施設	2

□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

疾患名	流行警報開始基準値	定点あたり報告数		年齢分布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
インフルエンザ	30	64.5	延岡(105.9)、都城(78.1) 小林(71.4)、日南(68.2)、中央(64.0)、宮崎市(60.6)、高鍋(48.2)	5歳以下が全体の31%、6歳~9歳が25%、10歳~14歳が21%、15歳~19歳が5%、20歳代~50歳代が17%、60歳以上が1%を占めた。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	3.3	延岡(12.0)	3歳~6歳で全体の約6割を占めた。
感染性胃腸炎	20	15.2	小林(31.3)、日南(29.7)、高千穂(21.0)	1歳~3歳で全体の約4割を占めた。
伝染性紅斑	2	0.89	中央(4.0)、高鍋(2.3)、高千穂(2.0)	3歳~7歳で全体の約8割を占めた。

■ 病原体情報（衛生環境研究所 微生物部）

□ ウイルス（平成23年1月11日～平成23年1月25日までに分離同定）

同定ウイルス名	年齢	性	採取日	臨床症状	材料	同定日
インフルエンザAH3型	3	女	1.11	インフルエンザ、39.5℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	1.18
インフルエンザAH1pdm型	2	女	1.7	インフルエンザ、39.2℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	1.18
ノロウイルスGⅡ型	3	女	1.7	感染性胃腸炎、下痢、嘔気、嘔吐	便	1.14
ノロウイルスGⅡ型	7M	男	1.8	感染性腸炎、アトピー性皮膚炎、下痢、嘔気、嘔吐	便	1.14
インフルエンザAH1pdm型	1	男	1.7	インフルエンザ、38℃、上気道炎、咽頭痛	鼻汁	1.18
インフルエンザAH1pdm型	3	男	1.12	インフルエンザ、38.8℃、咳、鼻汁、咽頭痛	鼻汁	1.18
インフルエンザAH1pdm型	1	男	1.13	インフルエンザ、発熱、上気道炎、気管支炎	咽頭ぬぐい液	1.18
インフルエンザAH1pdm型	11	女	1.13	インフルエンザ、38.5℃	鼻腔ぬぐい液	1.18
インフルエンザAH3型	58	女	1.13	インフルエンザ、38.6℃、咳、頭痛	咽頭ぬぐい液	1.18
インフルエンザAH1pdm型	12	女	1.15	インフルエンザ、40℃	鼻腔ぬぐい液	1.18
インフルエンザAH3型	18	男	1.17	インフルエンザ、39℃、咳、痰、鼻水	鼻腔ぬぐい液	1.18
インフルエンザAH3型	12	男	1.15	インフルエンザ、39.5℃、咳、鼻水、鼻閉、咽頭痛、筋肉痛、全身倦怠感	咽頭ぬぐい液	1.18
インフルエンザAH1pdm型	44	女	1.14	インフルエンザ、38.2℃、頭痛	鼻汁	1.18
インフルエンザAH1pdm型	38	女	1.17	インフルエンザ、39.1℃、関節炎	咽頭ぬぐい液	1.18
インフルエンザAH1pdm型	21	女	1.17	インフルエンザ、39.8℃、筋肉痛、関節痛、咽頭痛、頭痛、咳、痰、鼻水	咽頭ぬぐい液	1.18
インフルエンザAH1pdm型	4	女	1.14	インフルエンザ、37.9℃、上気道炎	鼻汁	1.19
インフルエンザAH3型	2	男	1.15	インフルエンザ、38.2℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	1.19
インフルエンザAH1pdm型	6	女	1.15	インフルエンザ、38.2℃、上気道炎、胃腸炎、嘔気、嘔吐、腹痛	鼻汁	1.19
インフルエンザAH1pdm型	3	男	1.17	インフルエンザ、38.8℃、上気道炎	鼻汁	1.19
インフルエンザAH3型	5	女	1.17	インフルエンザ、39.5℃、上気道炎	鼻汁	1.19
インフルエンザAH1pdm型	5	女	1.18	インフルエンザ、38.8℃、筋肉痛、上気道炎	鼻汁	1.19
インフルエンザB型	8	男	1.17	インフルエンザ、39.2℃、関節痛、上気道炎	咽頭ぬぐい液	1.19
インフルエンザAH1pdm型	1	男	1.18	インフルエンザ、41.6℃、咳、下痢、けいれん	咽頭ぬぐい液	1.19
インフルエンザAH3型	13	女	1.18	インフルエンザ、37.4℃、咳、鼻水、筋肉痛、関節痛、全身倦怠感	鼻汁	1.19
インフルエンザAH1pdm型	26	女	1.17	インフルエンザ、38.5℃、上気道炎、咽頭痛	鼻汁	1.19
インフルエンザAH1pdm型	6M	男	1.18	インフルエンザ、38.7℃	鼻汁	1.19
インフルエンザAH3型	12	男	1.18	インフルエンザ、38.2℃	鼻汁	1.21

インフルエンザ、ノロウイルスはリアルタイムPCR法で検出

○胃腸炎の乳幼児2例からノロウイルスGⅡ型が検出された。

○インフルエンザの患者からインフルエンザAH1pdm（新型）16例、インフルエンザAH3（A香港型）8例、インフルエンザB型1例が検出された。都道府県別の報告数は、沖縄県、佐賀県、福岡県、宮崎県が多くなっている。

□ 細菌（平成23年1月11日～平成23年1月25日までに分離同定）

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	分離材料	分離同定日
<i>Salmonella</i> Enteritidis (O9:g,m:-)	0~4	女	2011.1.6		便	2011.1.13
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	10代前半	男	2011.1.6	スタックカート(+), ウーブ(+)	鼻汁	2011.1.13
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	10代前半	女	2011.1.8	スタックカート(+), ウーブ(-)	鼻汁	2011.1.17
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	10代前半	男	2011.1.8	気管支炎	鼻汁	2011.1.17

○前日に引き続き、県北で10代前半の患者から百日咳が検出された。1名はLamp法のみ陽性、2名はLamp法・PCR法・培養の3方法で陽性であった。

患者発生が続いており、今後も、警戒が必要である。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 6 例が宮崎市 (3 例)、都城・日南・高鍋 (各 1 例) 保健所から報告された。
《宮崎市保健所》・80 歳代の男性で肺結核。咳、痰、発熱がみられた。
・80 歳代の男性で肺結核。咳、痰、発熱がみられた。
・60 歳代の男性で肺結核。咳、痰、発熱がみられた。
《都城保健所》・80 歳代の男性で肺結核。
《日南保健所》・80 歳代の男性で肺結核。咳、痰、発熱、胸痛がみられた。
《高鍋保健所》・90 歳代の女性で疑似症患者。
- 3 類感染症 : 報告なし。
- 4 類感染症 : 報告なし。
- 5 類感染症 : ○ウイルス性肝炎 1 例が宮崎市保健所から報告された。40 歳代の女性で B 型。肝機能異常がみられた。
○急性脳炎 1 例が延岡保健所から報告された。1 歳の男児で病原体はインフルエンザ A H1N1pdm。発熱、痙攣がみられた。

■ 全国第 2 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 28.7 で、前週比 129% と増加した。今週増加した主な疾患はインフルエンザと A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した疾患は水痘と咽頭結膜熱であった。

インフルエンザの報告数は 59,832 人 (12.1) で、前週比 239% と増加した。沖縄県 (55.3)、佐賀県 (27.9)、福岡県 (24.8) からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 25%、6-9 歳が 15%、10-14 歳が 12%、15-19 歳が 7%、20-50 歳代が 38%、60 歳以上が 3% を占めた。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 4,542 人 (1.4) で、前週比 127% と増加した。例年同時期の約 1.2 倍である。山形県 (4.8)、石川県 (4.5)、福井県 (3.2) からの報告が多く、年齢別では 3 歳から 7 歳で全体の約 6 割を占めた。

□ 全数把握対象疾患

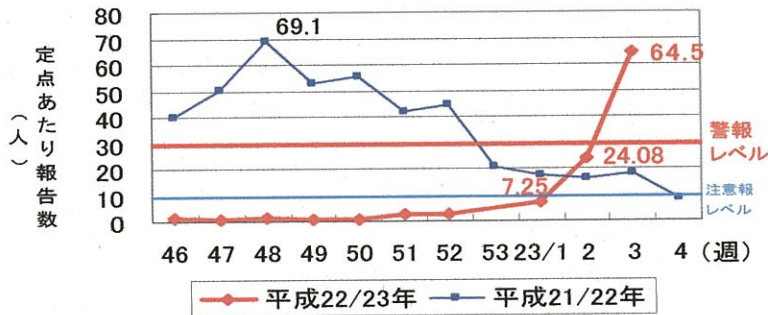
- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 222 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 3 例、腸管出血性大腸菌感染症 16 例
- 4 類感染症 : A 型肝炎 2 例、つつが虫病 7 例、デング熱 3 例、ボツリヌス症 1 例、レジオネラ症 7 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 6 例、ウイルス性肝炎 3 例、急性脳炎 6 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3 例、後天性免疫不全症候群 10 例、梅毒 7 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例、麻しん 1 例

■ インフルエンザ情報《県内第3週、全国第2週（再掲）》

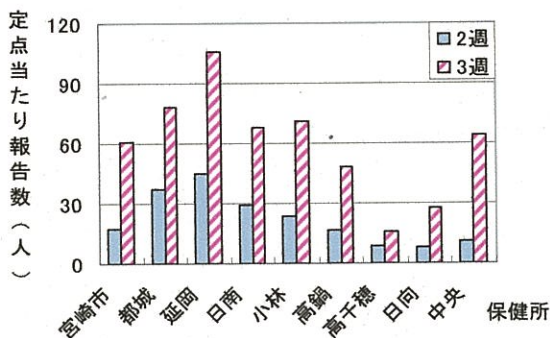
□ 県内第3週インフルエンザ発生動向

平成23年1月17日～1月23日までの1週間で3,805人（定点あたり64.5）の報告があり、前週に比べ約2.7倍と大幅に増加した（図1）。延岡（105.9）・都城（78.1）・小林（71.4）保健所からの報告数が多い（図2）、年齢別では5歳以下が全体の31%、6-9歳が25%、10-14歳が21%、15-19歳が5%、20-50歳代が17%、60歳以上が1%を占めた（図3）。

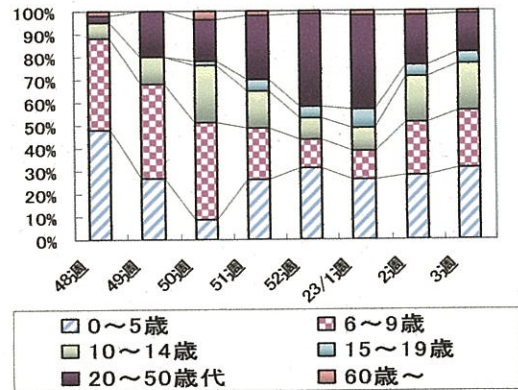
（図1）インフルエンザ週別発生状況（過去10週）



（図2）保健所別報告数



（図3）年齢群別の割合



インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

○:警報レベル、△:注意報レベル、-警報・注意報レベルなし

保健所	今週 (3週)		1週前 (2週)		2週前 (1週)		3週前 (52週)		4週前 (51週)		5週前 (50週)	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎市	60.6	○	17.6	△	3.9	-	0.8	-	0.3	-	0.0	-
都城	78.1	○	36.9	○	16.9	△	9.7	-	10.8	△	2.5	-
延岡	105.9	○	45.3	○	10.4	△	5.6	-	3.0	-	0.9	-
日南	68.2	○	29.4	△	6.4	-	0.0	-	0.4	-	0.0	-
小林	71.4	○	23.8	△	7.8	-	1.2	-	0.4	-	0.2	-
高鍋	48.2	○	16.5	△	5.2	-	1.0	-	0.3	-	0.0	-
高千穂	15.5	△	8.5	-	1.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-
日向	28.0	△	8.2	-	1.7	-	0.7	-	0.8	-	3.8	-
中央	64.0	○	11.0	△	4.5	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-

□ 全国第2週インフルエンザ発生動向

平成23年1月10日～1月16日までの1週間で59,832人（12.1）の報告があり、前週比239%と増加した。沖縄県（55.3）、佐賀県（27.9）、福岡県（24.8）、宮崎県（24.1）からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の25%、6-9歳が15%、10-14歳が12%、15-19歳が7%、20-50歳代が38%、60歳以上が3%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第03週(01月17日～01月23日)

疾病名		第2週	第3週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1421	3805	969	781	741	341	357	289	31	168	128
	定点あたり	24.08	64.49	60.56	78.10	105.86	68.20	71.40	48.17	15.50	28.00	64.00
RSウイルス 感染症	報告数	89	75	15	9	6	6		18	2	18	1
	定点あたり	2.47	2.08	1.50	1.50	1.50	2.00	0.00	4.50	2.00	4.50	1.00
咽頭結膜熱	報告数	18	13	2	4	4	2	1				
	定点あたり	0.50	0.36	0.20	0.67	1.00	0.67	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	94	119	21	4	48	7	1	10		25	3
	定点あたり	2.61	3.31	2.10	0.67	12.00	2.33	0.33	2.50	0.00	6.25	3.00
感染性胃腸炎	報告数	557	548	123	87	23	89	94	38	21	54	19
	定点あたり	15.47	15.22	12.30	14.50	5.75	29.67	31.33	9.50	21.00	13.50	19.00
水痘	報告数	133	137	46	41	2	9	4	20		14	1
	定点あたり	3.69	3.81	4.60	6.83	0.50	3.00	1.33	5.00	0.00	3.50	1.00
手足口病	報告数	12	14	10	2						1	1
	定点あたり	0.33	0.39	1.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
伝染性紅斑	報告数	29	32	7	5		3	1	9	2	1	4
	定点あたり	0.81	0.89	0.70	0.83	0.00	1.00	0.33	2.25	2.00	0.25	4.00
突発性発しん	報告数	46	37	11	5	2	7	2	4		6	
	定点あたり	1.28	1.03	1.10	0.83	0.50	2.33	0.67	1.00	0.00	1.50	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数		1					1				
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	81	50	10	4	11	12	1	2		5	5
	定点あたり	2.25	1.39	1.00	0.67	2.75	4.00	0.33	0.50	0.00	1.25	5.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	12	12	12								
	定点あたり	2.00	2.00	4.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1			1						
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数		1						1			
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第3週)

2類感染症	結核	12例(6)		
4類感染症	つつが虫病	1例		
5類感染症	ウイルス性肝炎	1例(1)	急性脳炎	1例(1)